

29 交流、移住・定住、国際化対応

現状

- 当町は能登からの移住者が多く、江差町能登会が結成され、その後、縁故調査をきっかけに交流が深まり、1998年4月に石川県珠洲市と友好都市提携を結んでいます。1998年11月には江差追分珠洲支部が設立されました。
- 当町はその歴史文化の育みの中から、北前船や江差追分をテーマにした全国交流を行ってきました。

課題

- 渡島半島南西部の新たなパートナーづくりと観光を中心としたネットワークを整備し共通PRを通して全体的な底上げを図らなければなりません。
- 今後も、行政レベルだけにとどまらず住民レベルにまで交流が浸透し、文化や歴史が息づく交流とさせ、真のネットワークに発展させる必要があります。

課題解決に向けた基本方針

- ・ 地域固有の資源、財産を活かした交流を推進し、必要に応じて、これまでの交流の見直し、更なる交流を推進します。
- ・ 行政主導の交流から、民間主体の交流の促進への転換を図ります。
- ・ スタッフ、受け入れ組織の育成など、交流を支える人材育成を推進します。
- ・ 交流イベント、定住や移住など、地域の活性化につながる交流を推進します。

具体的な施策

| | |
|------------------|----------------------------------|
| 友好都市、姉妹都市との交流の推進 | ・ 友好都市提携能登半島（珠洲市）との交流の推進 |
| 文化を通じた交流の推進 | ・ 江差追分支部自治体との交流の推進 |
| 国際交流の推進 | ・ 国際社会に対応した地域づくり |
| 地域の活性化につながる交流の推進 | ・ 交流イベントの充実 ・ 定住や移住につながる交流の推進 |

30 コミュニティ、まちづくり

現状

- 当町の全世帯に占める高齢者一人暮らし世帯及び高齢者のみの世帯の割合は42.7%となっています。
- 町内には32の町内会、自治会があり、それぞれの地域で、さまざまな活動を実施しています。

課題

- 高齢者が地域で可能な限り自立した生活を送るためには、福祉、消費、教育、文化などさまざまな分野で、地域が高齢者を支えるシステムづくりが必要です。
- 少子化と核家族化が進行するなかで、地域がどのように子育てに関していくのかということも、今後の大きな課題となってきます。
- さまざまな地域活動（ボランティア活動、子ども会、老人クラブ、郷土芸能伝承など）の蓄積を生かしながら、コミュニティ活動のステップアップを図る必要があります
- 町内会の担い手となる人材が不足し、高齢化が進んでいます。
- まちづくり活動について行政に依存しているところがあり、町内にいる人材が活動にむすびついていないことがあります。また、行政と住民との間で「行政はサービスの供給者」「住民はサービスの需要者」という意識の違いがあります。
- 行政だけでなく、住民、NPO、企業などが積極的に公共的な財・サービスの提供主体となり、教育や子育て、まちづくり、介護や福祉などの身近な分野において、共助の精神で活動する「新しい公共」を支援していく必要があります。

課題解決に向けた基本方針

- ・ コミュニティ施設の維持管理とともに、コミュニティ活動の活性化を図ります。
- ・ 高齢化が進み、町内会等の地域活動の維持が困難な地区への対応策を進めます。
- ・ 住民の自主的な活動を促進し、地域の課題を住民の力で解決していくしくみづくりを進めます。
- ・ 地域別の組織（コミュニティ）のほか、課題別（環境保全、子育て、高齢者見守りなど）のまちづくり活動組織の育成を図ります。
- ・ 性別に関わらず、家庭や地域、社会でだれもが活躍できるよう、男女共同参画を推進します。
- ・ 「新しい公共」の担い手としてNPOなどの非営利法人を育成します。

具体的な施策

| | |
|------------------|---|
| コミュニティ活動の促進 | ・ 各種団体との連携、幅広い広報活動などによるコミュニティ意識の高揚 ・ 子ども会、町内会、老人クラブなどの地域組織の活動の活性化、連携促進 ・ 各組織の相互交流活動の活発化 ・ 地域協力員活動の推進 |
| 集会施設等の適正な維持管理の推進 | ・ 集会施設の適正な維持補修 |
| まちづくり活動の活性化 | ・ 課題別のまちづくり活動組織の育成（環境保全、子育て、高齢者見守りなど） ・ 男女共同参画の推進 |